

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

応用/記述

SC

授業科目名	リーダーシップの実践	科目コード	配当年次	単位
担当教員	吉澤 郁雄	EB53	3・4	4

科目の概要

組織がフラット化・動態化する傾向にある今日、リーダーシップは管理職にはもちろん、実務の中心を担う中堅社員にも強く求められている。

本科目では、学習者自身が持つ「強み」をベースにしながら、独自のリーダーシップについて考えていく。また、リーダーシップの開発を通して「ビジネスパーソンとしての成長」についても考察する。

科目の到達目標

- ①リーダーシップの実践に関する基本的な項目を理解でき、リーダーシップやフォロワーシップに関する研究者の理論や実践家の持論について、具体的に説明できる。
- ②今日においてリーダーシップがなぜ大切であるかを理解するとともに、リーダーシップに関する重要な考え方を系統立てて指摘できる。

テキスト

『実践と成長のリーダーシップ』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年
『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年
『リーダーシップ持論ノート』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年

テキストの読み方

- ①テキスト『実践と成長のリーダーシップ』では、持論づくりの大切さとともに、研究者によるリーダーシップの理論が、どのように今日の状況に合わせて発展してきたかを系統立てて理解する。
- ②テキスト『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』では、他者の持論から学ぶとともに、それをどのように自己のリーダーシップの開発に結びつけるかを理解していく。
- ③2冊のテキストを通じて、変革の時代における今後の自己のキャリア開発を志向しながら、学んだ理論に基づいて、実践的にリーダーシップの成長のあり方を確認していく。

単位修得の方法

- ①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、
- ②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。